

授業科目 応用公衆栄養学実習

【担当教員名】 村山伸子	対象学年	4	対象学科	健康
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	90

【一般目標：G I O】
公衆栄養学Ⅰ、Ⅱ、公衆栄養学実習Ⅰ、Ⅱで学習したことを総合し、現場に適用できるために、さらに高度な能力をつけることを目的とする。公衆栄養学の目標は、「地域や職域等の健康・栄養問題とそれを取り巻く自然、社会、経済、文化的要因に関する情報を収集・分析し、それらを統合的に評価・判定する能力を養う。また、保健・医療・福祉・介護システムの中で、栄養上のハイリスク集団の特定とともにあらゆる健康・栄養状態の者に対し適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの作成・実施・評価の総合的なマネジメントに必要な理論と方法を修得する。さらに各種サービスの調整、人的資源など社会資源の活用、栄養情報の管理、コミュニケーションの管理などの仕組みについて理解する。」である。

- 【行動目標：S B O】
1. 現場での課題発見のための栄養アセスメントの枠組みと方法を確認する。
 2. 課題への多様なアプローチ方法を確認する。
 3. 他職種や社会資源との連携について確認する。
 4. 現場での評価方法について確認する
 5. レポート作成

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題
	事前オリエンテーション 栄養アセスメント	1	学外での実習
	課題へのアプローチ	2	同上
	他職種や社会資源との連携	3	同上
	評価方法	4	同上
	レポート作成	5	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 実習時の取り組み姿勢 50%、課題レポート 50%	【履修上の留意点】 守秘義務等、社会的な責任感をもって取り組むこと。
-------------------------------------	---------------------------------------

健康栄養学科 専門